

ポルトガル・リスボン植物園の日本由来の植物が、モラエスの文章とともに展示・出版

ポルトガルのリスボン市にあるリスボン植物園には、日本由来の植物が多数植栽されている(庭園に60種、圃場に3種)。これらが植栽されている園路や植物の説明板を整備する事業が3月中に完成を迎える。また、それを記念して作成された本“FLORA NIPÓNICA no Jardim Botânico de Lisboa(リスボン植物園における日本の植物)”が出版された。この企画には、徳島大学モラエス研究会の佐藤(生物資源産業学部・准教授)が協力した。

説明板や本では、63種類の日本由来の植物について、それぞれ解説書きに加えて、徳島で過ごしたポルトガルの文豪モラエスの文章が付されている(本では各植物の綺麗な植物画も載っている)。モラエスの文章は、神戸時代に書かれた『日本通信』や徳島で書かれた『徳島の盆踊り』『おヨネとコハル』の中から、植物について描写した印象的な箇所が選ばれている。これらは、ポルトガル語と英語が並記され、また、植物名については日本の呼称が漢字、カタカナ、ローマ字で示されており、日本人にとっても親しみ易く、またポルトガルはもちろん、諸外国の人々にも日本の植物への関心が高まるような内容となっている。

この企画は、ポルトガルのモラエス協会とリスボン植物園との間で温められており、2015年に徳島大学モラエス研究会がポルトガルを訪問した際に、植物学が専門の佐藤が、モラエス協会の会長であるバレイロス博士からこの話を聞いて協力を約束し、その後やりとりを重ねて実現した。バレイロス博士は、両国にとって大変有益なことであり、多くの日本人に訪れてほしいと語っている。

リスボン植物園にある植物は、モラエスが実際に送ったものではないが、大の植物好きであった彼がこのような形で、今日また両国を結ぶ架け橋となってくれたことを喜びたい。

“FLORA NIPÓNICA”から表紙(左)とイチヨウの解説箇所(右)の写真



お問い合わせ先

部局名：生物資源産業学部

責任者：佐藤 征弥

担当者：佐藤 征弥

電話番号：088-656-7222

携帯電話：090 9458 5144

メールアドレス：satoh.masaya@tokushima-u.ac.jp